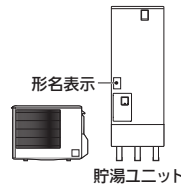


NTR--B6

# 家庭用自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯機

形名

- SRT-N376-2
- SRT-N376-BS2
- SRT-NK376D-2
- SRT-N466-2
- SRT-N466-BS2
- SRT-NK466D-2



## 補足説明書

同梱の取扱説明書、据付工事説明書にはお買上げいただいた機種の名前を記載しておりません。本紙の仕様となります。

- 標準品(Nタイプ)と取扱方法・工事方法に変更はありません。
- 貯湯ユニット正面の形名表示を確認し、形名チェック欄口にお買上げの給湯機をチェックしてください。本紙は必ず取扱説明書と一緒に保管してください。

※貯湯ユニット形名から「T」を除いたものがシステム形名となります。例)貯湯ユニット形名:SRT-NI376-2 → システム形名:SRT-N376-2

家庭用ヒートポンプ給湯機は、2011年2月制定のJIS C 9220:2011「家庭用ヒートポンプ給湯機」に基づく性能表示から、2018年3月改正のJIS C 9220:2018に基づく性能表示になりました。運転音の表示が「首上レベル」から「首響/パワーレベル」に変わりました。

## 仕様表 (JIS C 9220:2018に基づく表示)

仕向地	一般地向け		寒冷地向け	
	SRT-N376-2 (SRT-N376-BS2)	SRT-N466-2 (SRT-N466-BS2)	SRT-NK376D-2	SRT-NK466D-2
形名	SRT-N376-2 (SRT-N376-BS2)	SRT-N466-2 (SRT-N466-BS2)	SRT-NK376D-2	SRT-NK466D-2
定格電圧(周波数)	単相 200V(50-60Hz共用)			
最大電流	16A	17A	19A	19A
沸上げ温度範囲	約65℃~約90℃			
冬期高温沸上げ温度	90℃			
着霜期高温沸上げ温度	90℃			
寒冷地冬期高温沸上げ温度	90℃			
年間給湯効率(JIS) <sup>*8</sup>	3.5	3.5	3.2	3.2
寒冷地年間給湯効率(JIS)	—	—	2.9	2.9
区分名	E	E	F	F
給水器具認証書番号	W009-20020-057			
給水器具認証番号	SRT-N376-2	SRT-N466-2	SRT-N376-2	SRT-N466-2
形名	SRT-MU416-A (SRT-MU416-A-BS)	SRT-MU516-A (SRT-MU516-A-BS)	SRT-MUK456-A	SRT-MUK606-A
種類	屋外専用			
設置可能最低外気温度	マイナス10℃		マイナス25℃	
寸法(高さ×幅×奥行)	※配管カバー寸法			
質量	41kg	41kg	43kg	44kg
中間標準加熱能力/消費電力 <sup>*2*3</sup>	4.1kW/0.87kW	5.1kW/1.10kW	4.5kW/1.00kW	6.0kW/1.34kW
中間標準運転電流 <sup>*3</sup>	4.7A	5.8A	5.8A	7.7A
中間標準最大加熱能力/消費電力 <sup>*2*3*5</sup>	4.5kW/0.97kW	6.0kW/1.33kW	—	—
冬期高温加熱能力/消費電力 <sup>*1*2*4</sup>	4.1kW/1.37kW	5.1kW/1.70kW	4.5kW/1.50kW	6.0kW/2.00kW
冬期高温最大加熱能力/消費電力 <sup>*1*2*4*5</sup>	4.5kW/1.52kW	6.0kW/2.10kW	—	—
寒冷地冬期高温加熱能力 <sup>*1*2*6</sup>	—	—	4.5kW	6.0kW
運転音(首響/パワーレベル)(中間期 <sup>*3</sup> /冬期 <sup>*4</sup> ) <sup>*7</sup>	51dB/55dB	55dB/57dB	51dB/55dB	55dB/57dB
冷媒名/封入量	CO <sub>2</sub> (R744)/0.75kg	CO <sub>2</sub> (R744)/0.75kg	CO <sub>2</sub> (R744)/0.72kg	CO <sub>2</sub> (R744)/0.73kg
設計圧力	高圧:14.0MPa / 低圧:8.5MPa			
形名	SRT-NT376-2 (SRT-NT376-BS2)	SRT-NT466-2 (SRT-NT466-BS2)	SRT-NTK376D-2	SRT-NTK466D-2
タンク容量	370L	460L	370L	460L
種類	屋外形		屋内形/屋外形	
設置可能最低外気温度	マイナス10℃		マイナス15℃	
寸法(高さ×幅×奥行)	1820×630×760mm	2160×630×760mm	1820×630×760mm	2160×630×760mm
アスペクト比 <sup>*10</sup>	2.9	3.5	2.9	3.5
質量(満水時)	56kg(426kg)	60kg(520kg)	58kg(428kg)	61kg(521kg)
通常使用圧力(減圧弁圧力)/水側最高使用圧力(逃し弁圧力)	180kPa/193kPa			
制御用消費電力	0.004kW			
凍結防止ヒータ消費電力	0.036kW			

## 仕様表 別表 (JIS C 9220:2011に基づく表示) 省エネルギー法に基づく区分名及び年間給湯効率

システム形名	SRT-N376-2 (SRT-N376-BS2)	SRT-N466-2 (SRT-N466-BS2)	SRT-NK376D-2	SRT-NK466D-2
年間給湯効率(JIS) <sup>*9</sup>	3.5	3.5	3.2	3.2
寒冷地年間給湯効率(JIS) <sup>*9</sup>	—	—	2.9	2.9
区分名	19	19	23	23

※1. 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。  
 ※2. 沸上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。  
 ※3. 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温17℃、沸上げ温度65℃  
 ※4. 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度90℃  
 ※5. 最大加熱能力とは、実測値ではなく機器の制向上目標とする能力値です。加熱能力は、370L機種の場合は4.1~4.5kWの範囲、460L機種の場合は5.1~6.0kWの範囲で運転します。加熱能力は運転時の外気温、貯湯量などによって決定されます。  
 ※6. 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/8℃、水温5℃、沸上げ温度90℃  
 ※7. 運転音は、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態でも測定すると、周囲の騒音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。  
 ※8. 年間給湯効率(JIS)は、JIS C 9220に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。  
 年間給湯効率(JIS) = 1年間で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1年間に必要な消費電力量  
 算出条件: 沸上げモード「おまかせ」での蓄電期給湯モード性能試験時の沸上げ温度65℃、冬期給湯モード性能試験時の沸上げ温度65℃  
 ※9. 本表の年間給湯効率(JIS)は、JIS C 9220:2011に基づく表示したものです。  
 ※10. 貯湯ユニットの幅または奥行きの小さい方に対する高さの比です。  
 注1. JIS C 9220:2018での年間給湯効率と、JIS C 9220:2011の年間給湯効率は同じです。  
 注2. 夜間消費電力量比率(JIS C 9220 冬期給湯モード性能試験条件時): 80%  
 注3. 給湯モード性能試験時の供試機の運転設定方法は、貯湯ユニットの前面カバーを開け、前面カバー裏の試験案内で確認ください。(必ず、電源ブレーカーを「切」にしてから前面カバーを開けてください。ただし、上記試験を行わない一般的なお客さまは、前面カバーを開けないでください。  
 注4. 適用電力制度については電力会社にお問い合わせください。

■騒音等防止を考えた据付に関して  
 「騒音等防止を考えた 家庭用ヒートポンプ給湯機の据付ガイドブック」を下記URLよりダウンロードできますので参照してください。  
 一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページ [https://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t\\_guide.html](https://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html)

■2018年のJIS改正で運転音の測定方法が変更されました。  
 従来の「首上レベル(騒音レベル)」はJISで定められた1点で測定したものでしたが、今回採用された「首響/パワーレベル」は周囲に発する全ての首響エネルギーを評価したものです。国際的な評価方法の統一を図るため、表示を開始しました。製品の運転音が大きくなった訳ではありません。詳しくは、一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページをご覧ください。 <https://www.jraia.or.jp>